平成24年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月４日

上 場 会 社 名	株式会社オウケイウェイヴ	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3808	URL	http://www.okwave.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)兼元　謙任	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営管理本部長	(氏名)野崎　正徳	(TEL)03(5793)1195
四半期報告書提出予定日	平成23年11月11日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年６月期第１四半期の連結業績（平成23年７月１日～平成23年９月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年６月期第１四半期	373	△1.4	35	△6.6	34	△7.1	20	97.8
23年６月期第１四半期	378	10.5	38	471.9	36	723.3	10	242.4

(注) 包括利益　24年６月期第１四半期　18百万円(128.4%)　23年６月期第１四半期　8百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年６月期第１四半期	236 41	234 82
23年６月期第１四半期	119 53	118 77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年６月期第１四半期	2,121	1,941	91.3	22,542 16
23年６月期	2,131	1,943	91.0	22,576 20

(参考)　自己資本　24年６月期第１四半期　1,937百万円　23年６月期　1,940百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年６月期	―	0 00	―	250 00	250 00
24年６月期	―				
24年６月期(予想)		0 00	―	250 00	250 00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3.　平成24年６月期の連結業績予想（平成23年７月１日～平成24年６月30日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	752	△7.6	39	△50.3	39	△50.1	23	△22.2	267 57
通期	1,630	1.7	160	10.3	160	8.3	96	△14.4	1,116 82

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　　、除外　―社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

② ①以外の会計方針の変更　　：　無

③ 会計上の見積りの変更　　：　無

④ 修正再表示　　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年６月期１Ｑ	85,965株	23年６月期	85,955株
② 期末自己株式数	24年６月期１Ｑ	―株	23年６月期	―株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年６月期１Ｑ	85,958株	23年６月期１Ｑ	85,945株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
(4) 追加情報 …… 4
3.　四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(4) セグメント情報 …… 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①全般的概況

当第１四半期連結累計期間(平成23年７月１日～平成23年９月30日)におけるわが国経済は、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるものの、海外景気の減速や円高による為替リスクによって景気が下振れするリスクが存在しております。

インターネット関連業界におきましては、ソーシャルメディア(SNS、Q&Aサイト、ブログ、動画共有サイト、口コミサービス)の広告収益及び課金収益を合わせ、平成24年度には3,963億円規模になると予測（※1）されています。またインターネットビジネス市場では、ネットワークを介してソフトウェア等を利用するクラウドコンピューティングが注目を集めており、その市場規模は急速に拡大し、平成24年には4,106億円、平成27年には7,438億円に達すると予測されています。（※2）このなかでも、世界的に注目を集めはじめているソーシャルCRM（※3）市場において、当社は実績を着々と積み上げてきております。

このような環境のもと、特にソリューション事業において事業の拡大をみせたものの、ポータル事業において、前連結会計年度の第４四半期(平成23年４月１日～平成23年６月30日)に連結子会社の株式を売却したことで売上高減少、またソーシャルメディアサービスへコストを投入したことで営業利益及び経常利益が減少し、業績は次のとおりとなりました。

（※1）出典「ソーシャルメディアの市場展望と事業戦略 2010年度版」（ミック経済研究所）
（※2）出典「クラウドコンピューティング市場に関する調査結果2009」（矢野経済研究所）
（※3）企業がソーシャルメディアを利用して顧客との密接な関係づくりを図ること

	当第1四半期連結累計期間（千円）	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	373,304	△5,250	△1.4
営業利益	35,511	△2,504	△6.6
経常利益	34,123	△2,589	△7.1
四半期純利益	20,321	10,048	97.8

②事業別概況

ポータル事業におきましては、ソーシャルメディア市場で国内最大級のQ&Aサイト「OKWave」のデータベース貸し出し及び広告販売、またTwitter形式で投稿できるQ&Aサイト「OKetter（おけったー）」で企業とのコラボレーション企画の販売や携帯電話にて有料サイトの配信等を行っております。

当第１四半期連結累計期間では、「OKWave」にソーシャルメディアとの連携機能を新たに追加したほか、「OKetter（おけったー）」にてイオントップバリュ株式会社とのコラボレーション企画の実施や携帯有料サイトのリニューアルを行ってまいりました。

しかしながら、前連結会計年度の第４四半期に連結子会社の株式を売却したことで売上高は減少（単体ベースの売上高は前年並み）、またソーシャルメディアサービスへコストを投入したことで営業利益の減少となり、ポータル事業の業績は次のとおりとなりました。

	当第１四半期連結累計期間（千円）	前第１四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	150,226	△25,394	△14.5
営業利益	801	△14,222	△94.7

ソリューション事業におきましては、FAQ(よくある質問と回答)作成管理ソフトウェアをSaaSモデル（※4）として、様々な企業ホームページ上へ向けて期間貸しをするビジネスモデルを中心に展開しております。

当第１四半期連結累計期間の活動内容としましては、金融機関向け強化パック『OKBiz Support for Finance』の提供を開始したほか、スマートフォンなどに対応したFAQ作成管理ツール『OKBiz Support Ver.7.0』の提供を開始しました。これにより引き続き金融業界への導入が好調に進んだほか、製薬業界やTSUTAYA DISCASといったサービス業界への導入も進んでおります。

以上の結果、ソリューション事業の業績は、次のとおりとなりました。

（※4）ソフトウェア機能のうち、必要な機能を必要な分だけ、ネットワークを介して提供する形態

	当第１四半期連結累計期間（千円）	前第１四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	223,078	20,144	9.9
営業利益	120,746	16,411	15.7

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第１四半期連結会計期間末における資産残高は、主に現金及び預金の減少により2,121,669千円（前連結会計年度末比10,328千円減少）となりました。

(イ)負債

当第１四半期連結会計期間末における負債残高は、主に流動負債のその他（前受金及び未払消費税等）の減少により180,524千円（前連結会計年度末比7,627千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、主に四半期純利益による利益剰余金の増加があったものの剰余金の配当を実施したため1,941,144千円（前連結会計年度末比2,700千円減少）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年８月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものはありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる影響はありません。

（４）追加情報

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,089,208	1,061,719
売掛金	173,106	194,414
有価証券	300,000	300,000
その他	33,188	36,373
貸倒引当金	△6,068	△6,031
流動資産合計	1,589,435	1,586,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,948	29,948
減価償却累計額	△15,358	△16,100
建物及び構築物（純額）	14,589	13,847
工具、器具及び備品	344,482	369,590
減価償却累計額	△272,164	△283,901
工具、器具及び備品（純額）	72,317	85,689
有形固定資産合計	86,907	99,536
無形固定資産		
ソフトウエア	121,162	106,195
ソフトウエア仮勘定	53,556	45,528
その他	11,683	11,790
無形固定資産合計	186,402	163,515
投資その他の資産		
投資有価証券	70,092	66,224
その他	239,453	245,904
貸倒引当金	△40,293	△39,988
投資その他の資産合計	269,252	272,140
固定資産合計	542,562	535,192
資産合計	2,131,997	2,121,669
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,816	17,472
未払金及び未払費用	79,276	79,896
未払法人税等	20,835	20,517
その他	53,700	46,093
流動負債合計	171,629	163,980
固定負債		
資産除去債務	16,522	16,544
固定負債合計	16,522	16,544
負債合計	188,152	180,524

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	966,221	966,321
資本剰余金	936,021	936,121
利益剰余金	49,708	48,541
株主資本合計	1,951,951	1,950,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△69
為替換算調整勘定	△11,381	△13,078
その他の包括利益累計額合計	△11,413	△13,147
新株予約権	3,308	3,308
純資産合計	1,943,845	1,941,144
負債純資産合計	2,131,997	2,121,669

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	378,554	373,304
売上原価	173,216	180,873
売上総利益	205,337	192,431
販売費及び一般管理費	167,321	156,919
営業利益	38,015	35,511
営業外収益		
受取利息	890	694
持分法による投資利益	742	－
貸倒引当金戻入額	－	300
雑収入	85	274
営業外収益合計	1,717	1,269
営業外費用		
為替差損	3,019	2,656
営業外費用合計	3,019	2,656
経常利益	36,713	34,123
特別利益		
貸倒引当金戻入額	250	－
新株予約権戻入益	607	－
特別利益合計	857	－
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,478	－
固定資産除却損	－	264
投資有価証券評価損	－	440
投資有価証券売却損	－	1,895
特別損失合計	10,478	2,599
税金等調整前四半期純利益	27,092	31,523
法人税、住民税及び事業税	22,065	18,657
法人税等調整額	△6,328	△7,455
法人税等合計	15,736	11,202
少数株主損益調整前四半期純利益	11,355	20,321
少数株主利益	1,082	－
四半期純利益	10,272	20,321

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成22年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	11,355	20,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△36
為替換算調整勘定	△3,189	△1,697
その他の包括利益合計	△3,215	△1,734
四半期包括利益	8,139	18,587
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,056	18,587
少数株主に係る四半期包括利益	1,082	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成22年７月１日　至　平成22年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ポータル事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	175,620	202,933	378,554	―	378,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	175,620	202,933	378,554	―	378,554
セグメント利益	15,024	104,335	119,359	△81,343	38,015

（注）１　セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ポータル事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	150,226	223,078	373,304	―	373,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	150,226	223,078	373,304	―	373,304
セグメント利益	801	120,746	121,547	△86,036	35,511

（注）１　セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成23年９月30日）

該当事項はありません。